

令和元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人三溪園保勝会

事業の基本理念

三溪園は、明治39(1906)年に実業家・原三溪が、自然や文化財は共有財であるという考えから、自邸を広く一般に公開したことに始まります。三溪が庭園、そして蒐集した歴史的建造物や美術品を公開したことにより、三溪園は単に行楽の地にとどまらず日本文化の保護や育成・啓蒙、そして新たな文化の醸成にもつながりました。本財団では、三溪の遺志、そして三溪園が果たしてきたこうした役割を受け継ぎ、定款に掲げられた次の文意に沿って、三溪園の管理・運営を行っています。

「国民共有の文化遺産である重要文化財建造物等及び名勝庭園の保存・活用を通して、歴史及び文化の継承とその発展を図り、潤いある地域社会づくりに寄与するとともに、日本の文化を世界に発信する」（公益財団法人 三溪園保勝会 定款 第3条）

令和元年度もこの目的に則し、また横浜市との協約により設定した目標値(※)の達成をめざして、事業を行いましたのでここに報告します。

令和元年度の事業

原三溪没後80年やワールドカップラグビーの開催など、集客・認知度の向上などに結びつくトピックスがあったものの、記録的な猛暑や2度の台風直撃などにより、入園者数は期待に反し伸びない結果となりました。また、例年来園者が集まる年度末からは、新型コロナウイルスの感染拡大により、観梅会や観桜の夕べなどの園の代表的催事の中止や三溪記念館、旧矢筈原家住宅（合掌造り）の屋内開放の施設休館、ボランティアの活動休止などを余儀なくされ、大きく影響を受けました。

公益目的事業

※横浜市との協約目標

協約事項（平成30～令和4年）	平成30年	令和元年	目標数値
入園者数の増	407,029人	407,534人	500,000人
外国人入園数の増	46,180人	47,147人	50,000人

※上記の入園者数は、桜の開花状況により3～4月の変動が激しいため、1～12月の合計としています。

1 庭園および歴史的建造物の公開と、それを活用した日本の伝統・文化の紹介

(1) 入園者の状況 ((資料 1))

入園者総数	371,168人	平成30年度	399,521人	前年度比	92.9%
有料入園者	283,627人	平成30年度	316,414人	前年度比	89.6%
外国人	40,611人	平成30年度	48,489人	前年度比	83.8%
子ども	14,149人	平成30年度	17,241人	前年度比	82.1%

(2) 催事 ((資料 2))

施設自体はもとより日本の伝統文化や季節感に触れ、親んでもらうことを目的に、年間を通して多様な催事を行いました。市民団体や機関、周辺の地域、ボランティア、作家、横浜市等と連携・協力し、財団単独では成しえない魅力を創出し、誘客・集客効果を生むことができました。特に令和元年は原三溪没後80年にあたり、企画展や記念シンポジウムなど記念事業の開催や連携も行いました。

2 庭園および歴史的建造物の維持・管理 (資料 3)

名勝三溪園整備委員会を開催し、助言・指導のもと年次計画に沿って整備を進めました。

(1) 名勝三溪園整備委員会の開催

各分野（庭園・建築・植生・地盤工学・歴史）の識者による名勝三溪園整備委員会を開催し、事業計画、修理方針、施工方法、事業報告などの審議とともに、適宜個別に現地指導を受けました。

(ア) 第 1 回委員会 令和元年 7 月 11 日

平成 30 年度の事業報告とともに、令和元年度事業計画の審議を行い、承認を得ました。

(イ) 第 2 回委員会 令和元年 10 月 30 日

令和元年度事業の中間報告とともに、令和 2 年度事業計画、年次計画の審議を行い、承認を得ました。

(ウ) 第 3 回委員会 令和 2 年 2 月 21 日

令和元年度事業の中間報告とともに、令和 2 年度事業計画、年次計画の審議を行い、承認を得ました。

(2) 庭園の整備

(ア) 植栽の整備

鶴翔閣西側の山林部及び旧東慶寺仏殿南側の山林部、春草廬南側の山林部等で、建物に悪影響を及ぼす恐れのある樹木等の伐採・剪定を行いました。

(イ) 大池東岸の修景整備

使用していない浄化槽の撤去や景観を阻害している樹木の伐採、桜の捕植、芝による整地等を行い、景観改善のための工事を実施しました。

(ウ) 観覧環境の整備

園路の不陸や段差の整備、花木の育成・剪定、庭園諸施設の更新・小破修繕等、来園者の快適な観覧環境を維持するための整備を行いました。

(エ) 台風 15 号・19 号により生じた約 700 本に及ぶ倒木や枝折れのうち、庭園景観に影響を及ぼす樹木や山林管理上、処理が必要な樹木約 470 本について伐採処分や剪定等を実施しました。

(3) 歴史的建造物の修理

(ア) 重要文化財 臨春閣の修理

前年度に着手した檜皮葺き・柿葺き屋根の全面葺き替えを継続して実施しました。（3か年計画の 2 年度目）

本年度は、第一屋・第二屋の檜皮葺き・柿葺きの葺き替えが完了し、続いて第三屋の葺き替えのための素屋根の建設とともに、樋や木部の修理、避雷針を再設置しました。また、前年度の調査をもとに耐震設計を行い、耐震壁施工のための解体作業を実施しました。

(イ) 小破損の修理

蓮華院・横笛庵の屋根の部分葺き替え、鶴翔閣の茅葺き屋根の差茅・棟の積み替え、同柿葺き屋根の劣化箇所への応急処置を実施しました。また、林洞庵の排水溝清掃、旧天瑞寺寿塔覆堂の瓦屋根の修理、白雲邸の戸棚の把手の取り替え、臨春閣の襖・欄間の修理（令和 2 年度までの継続事業）を行いました。

(ウ) 文化財建造物の防蟻処理

年次計画に基づき、天授院・旧天瑞寺寿塔覆堂・御門・横笛庵・金毛窟・海岸門・蓮華院・亭榭のシロアリ防除処理を行いました。

(工) 台風による被害箇所の復旧工事

台風 15 号・19 号による被害を受けた旧天瑞寺寿塔覆堂・林洞庵・旧燈明寺三重塔・旧矢筈原家住宅・白雲邸の修理工事を実施しました。

(4) その他の修理・整備

(ア) トイレの整備

来園者が利用する主要なトイレ 2 棟について、和式便器を洋式・洗浄機付便座に変更するとともに、ベビーチェアや手すり等を設置し、附属する多目的トイレについてはオストメイトの設置や手動式扉を自動扉に改修するなど、ユニバーサルデザインに沿った整備を行いました。

(イ) 誘導灯設置

茶会や披露宴など多数の利用者の受入れがある鶴翔閣に、火災予防上必要な誘導灯を設置しました。

(ウ) 三溪記念館空調設備の改修

貴重な美術品の展示収蔵環境を良好に保つため、年次計画に基づき空調設備の改修を行いました。また、展示室内の吸着剤の交換や管理室系統の室外機交換等も行いました。

(エ) 鶴翔閣の整備、改修

空調設備の良好な稼働のため、マルチエアコン、冷温水ヒートポンプチャラー、排風機等を更新しました。また、建具や畳、屏風等の修理を行いました。

(オ) 三溪園隣接地の樹木整備

三溪園に隣接する住宅等の樹木整備（倒木や高木・枯木等の危険樹木、越境樹木の伐採、除草、落ち葉清掃など）を行いました。

3 原三溪および三溪園に関する美術品、資料等の収集、保存および活用

(1) 展覧会の開催

三溪自筆の書画やゆかりの作家作品など所蔵する作品をテーマに合わせて選択・構成した常設展を開催したほか、横浜美術大学との連携企画「三溪園と日本画の画家たち」（鶴翔閣と 2 会場で開催）、原三溪市民研究会との共催によるパネル展「もっと知ろう、原三溪—原三溪市民研究会 10 年の足跡」を行いました。

(2) 美術品、資料等の収集・保存、活用

(ア) 寄贈・寄託品の受入

《寄贈》

高橋杭水「冬景山水」

《寄託》

小栗宗丹「周茂叔愛蓮図」、高然暉「山水図」、（溝喰姫宮用銘）硯外箱、（染付牛図）水滴、原三溪「水草扇面」、牛田雞村「日野山荘画卷」2 巻
「ラッカ耳付香炉」（三溪旧蔵品）

(イ) 所蔵品の貸出

○特別展「原三溪の美術 伝説の大コレクション」（横浜美術館、7 月 13 日～9 月 1 日）

原三溪旧蔵品、原三溪筆書画、史料 合計 44 点

○特別展「谷文晁×富士山」（静岡県富士山世界遺産センター、12 月 7 日～2 月 2 日）

谷文晁「富士図」1 点

(3) 三溪記念館の保守

三溪記念館収蔵庫の環境調査および除塵防黴の施工を行いました。

4 ボランティア活動の場の提供および機会の拡大 (資料4)

ボランティア登録者数：223名（令和2年3月31日現在）

《内訳》ガイド・インフォメーション144名、合掌造り管理運営50名、庭園保守管理71名

※重複登録あり。

5 市民や地域、他機関とのおもな協働・連携 (資料5)

近隣の地域や施設、市民団体などの企画とタイアップし、周辺への認知を高め、三溪園のさらなる魅力発信を図りました。

(1) 地域や他機関との連携

横浜市や中区、三溪園周辺の本牧地域住民が開催する事業など、相乗効果が期待できる企画との連携を行いました。

特に原三溪生誕150年・没後80年の記念企画として横浜美術館で開催された特別展「原三溪の美術—伝説の大コレクション」では当財団の所蔵資料を提供したほか、三溪園を会場に横浜美術大学との連携・共催による「三溪園と日本画の作家たち」を開催し、また横浜観光コンベンションビューローの協力により無料シャトルバスを運行しました。

また、ワールドカップラグビー開催にともなう横浜市の企画、「和の匠展」（会場：鶴翔閣）や「三溪園和音まつり2019～音故知新」、「高円宮妃殿下写真展—鳥たちの煌きIV」を受け入れました。

(2) 市民団体との連携、協働

原三溪市民研究会や三溪の故郷である岐阜市の原三溪柳津文化の里構想実行委員会の活動に対し、資料提供などの協力をしました。特に原三溪市民研究会とは、通常横浜美術館で開催している同研究会シンポジウムの会場を、原三溪生誕150周年の昨年に続き、没後80年の特別企画として鶴翔閣に移し共催で行ったとしたほか、三溪記念館第3展示室でパネル展「もっと知ろう、原三溪—原三溪市民研究会10年の足跡」を開催しました。

(3) 学校との連携、利用受け入れ

昨年度に引き続き、日本ガーデンデザイン専門学校等の要請により植栽の剪定や下刈り作業、竹垣の修理など庭園管理作業の一部を実習の場として提供しました。（延べ日数33日、延べ人数約720名）また、同校学生の日本文化を学ぶ実習（茶道・華道）場として園内の建物を提供しました。

6 歴史的建造物の貸し出し (資料6)

文化的活動を目的に使用する個人や団体等に対し、鶴翔閣や白雲邸など10棟の建造物を有料で貸し出しました。

7 営業および広報活動

(1) 営業活動 (資料7)

首都圏を中心に旅行会社への訪問営業を行いました。また、三溪園への送客・施設利用を促すとともに、横浜観光コンベンションビューローや神奈川県などが開催する商談会やセミナー、連携部会にも積極的に参加し、動向やニーズなど情報の集積にも努めながらPR活動を行いました。

(2) 広報活動 (資料8)

ホームページやポスター・チラシを中心に広報を展開するとともに、各種メディアへの積極的な情報発信と取材の受け入れを行い、掲載や放送等でのPRに注力しました。

また、他機関事業との連携や、既存イベントに新たな企画を盛り込み、話題性を意識した広報に取り組んだほか、前年に引き続き入園者増を見込める紅葉のシーズンに東急線・みなとみらい線の駅構内に交通広告を掲出し、さらなる集客を狙いました。

8 利便性と満足度の向上に向けた施設の整備

(1) ホームページのリニューアル

従来日本語と英語のみとしていた主要ページの部分を中国語（簡体字・繁体字）、韓国語を加え、多言語化を図ったとともに、読み上げ機能を導入し園内サインとのリンク（QRコードによるダウンロード）により、観覧時に音声ガイドとして利用できるようにしました。

(2) 園内サインのリニューアルおよび松風閣解説パネルの新設

幅広い来園者の層に、よりわかりやすい内容とするとともに、ホームページの読み上げ機能とのリンク（QRコードによるダウンロード）により多言語に対応できるようにしました。また、松風閣には、その歴史・沿革とそこから展望できる風景を解説する2種のパネルを新設しました。

(3) 土産品の開発およびキャッシュレス決済機器の導入

横浜市の三溪園の土産品開発企画を受け入れるとともに、クレジットカード、電子マネーでの決済ができる機器を導入しました。

(4) 三溪記念館のセンター機能強化

展示室やミュージアムショップ、茶席「望塔亭」の利用を促し、三溪記念館のセンターとしての機能強化を図るため、サインリニューアルにあわせて園内マップ案内板に同記念館の情報を強調したほか、横浜市の協力により新たな土産品を開発し、キャッシュレス決済ができる環境を整備しました。また、三溪園施設をより深く認知してもらうため、館内に三溪園を映像で紹介するデジタルサイネージを新設しました。

(5) トイレの整備

来園者が利用する主要なトイレ2棟について、和式便器を洋式・洗浄機付便座に変更するとともに、ベビーチェアや手すり等を設置し、多目的トイレについてはオストメイトの設置や手動式扉を自動扉に改修するなど、ユニバーサルデザインに沿った整備を行いました。

収益事業

公益目的事業推進のため、来園者の利便設備として駐車場、茶店の賃貸、茶席、ミュージアムショップ等を運営するとともに、鶴翔閣と古建築の一部および庭園を披露宴や展示会・パーティー・撮影会等、幅広い目的に貸し出しました。

1 ウェディングの利用状況 ((資料9))

(1) 鶴翔閣の披露宴利用

空調設備等の整備工事にともない、2・3月を中心に施設の貸出および提供が不可となったため、利用件数が減少しました。

(2) 庭園での記念撮影

使用料改定の影響により、前年度に続き減少傾向がみられます。

2 記念品販売の状況 ((資料10))

新たな土産品開発を行ったものの、売上高および客単価は前年度を下回る結果となりました。

3 茶席「望塔亭」の利用状況 ((資料11))

本格的な茶道をリーズナブルに気軽に体験できる場所として国内外の来園者に好評のコーナーですが、入園者の減少に比例した利用の減少とあわせて、新型コロナウイルス感染拡大により2月末以降は休業としているため大幅な減収となりました。

役員会の開催状況

1 理事会

- (1) 令和元年6月12日 10時30分～ 会場：三溪園 鶴翔閣
議案
第1号議案 平成30年度事業報告について
第2号議案 平成30年度決算報告について
第3号議案 平成31年度（令和元年度）収支予算における正味財産額の補正について
第4号議案 評議員会の開催について
報告事項1 監事の辞任について
報告事項2 理事長、副理事長、業務執行理事の職務の執行状況について
- (2) 令和2年3月6日 10時30分～ 会場：三溪園 鶴翔閣
議案
第1号議案 公益目的事業にかかる余剰金解消施策の件
第2号議案 特定費用準備資金等取扱規程制定の件
第3号議案 特定資産取得・改良資金保有の件
- (3) 令和2年3月19日（新型コロナウイルス感染拡大にともない、みなし決議）
議案
第1号議案 令和2年度事業計画について
第2号議案 令和2年度収支予算について
第3号議案 処務規程の一部改正について
第4号議案 委員会員の選任について
第5号議案 評議員会の開催について
報告事項1 理事長、副理事長、業務執行理事の職務の執行状況について

2 評議員会

- (1) 令和元年6月27日 14時00分～ 会場：ワークピア横浜
議案
第1号議案 平成30年度事業報告について
第2号議案 平成30年度決算報告について
第3号議案 平成31年度（令和元年度）収支予算における正味財産額の補正について
第4号議案 理事の選任について
第5号議案 監事の選任について
第6号議案 定款の一部変更について
報告事項1 監事の辞任について
- (2) 令和2年3月30日（新型コロナウイルス感染拡大にともない、みなし決議）
議案
第1号議案 令和2年度事業計画について
第2号議案 令和2年度収支予算について
報告事項1 処務規程の一部改正について

令和元年度事業報告書《資料》

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人三溪園保勝会

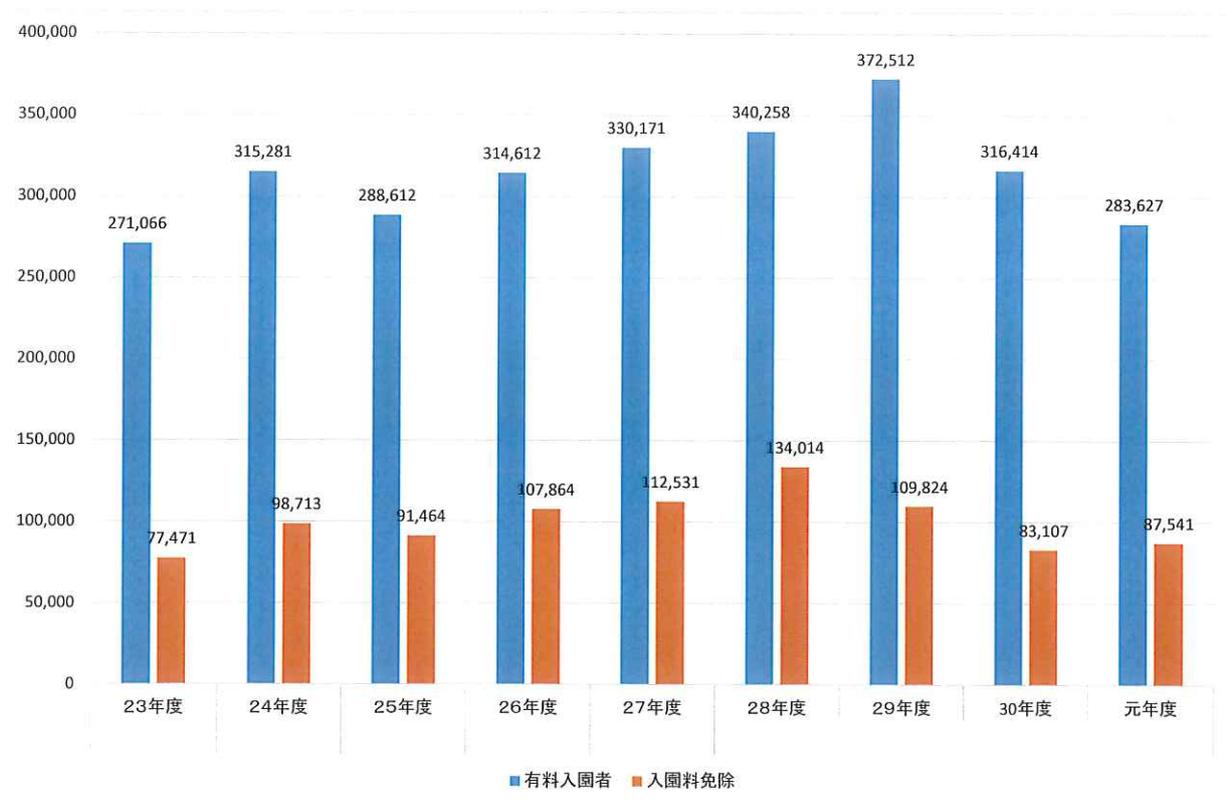
入園者の状況

資料 1

<有料・無料別>

(単位 人)

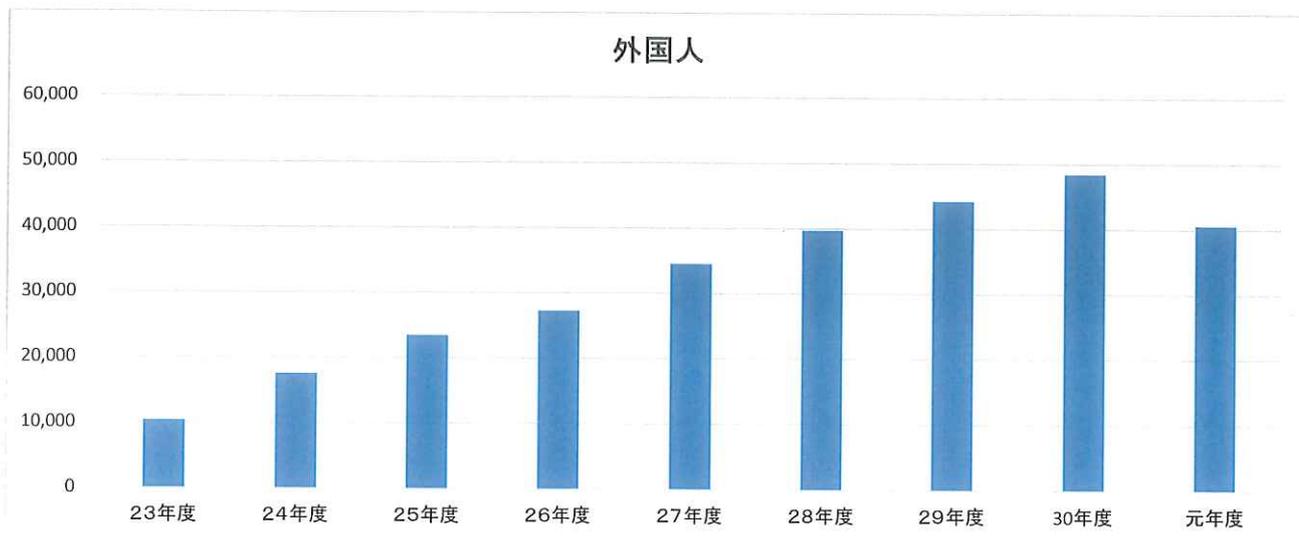
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総数	405,127	348,537	413,994	380,076	422,476	442,702	474,272	482,336	399,521	371,168
有料入園者	321,571	271,066	315,281	288,612	314,612	330,171	340,258	372,512	316,414	283,627
入園料免除	83,556	77,471	98,713	91,464	107,864	112,531	134,014	109,824	83,107	87,541
(無料入園比率)	20.6%	22.2%	23.8%	24.1%	25.5%	25.4%	28.3%	22.8%	20.8%	23.6%



外国人入園者

(単位 人)

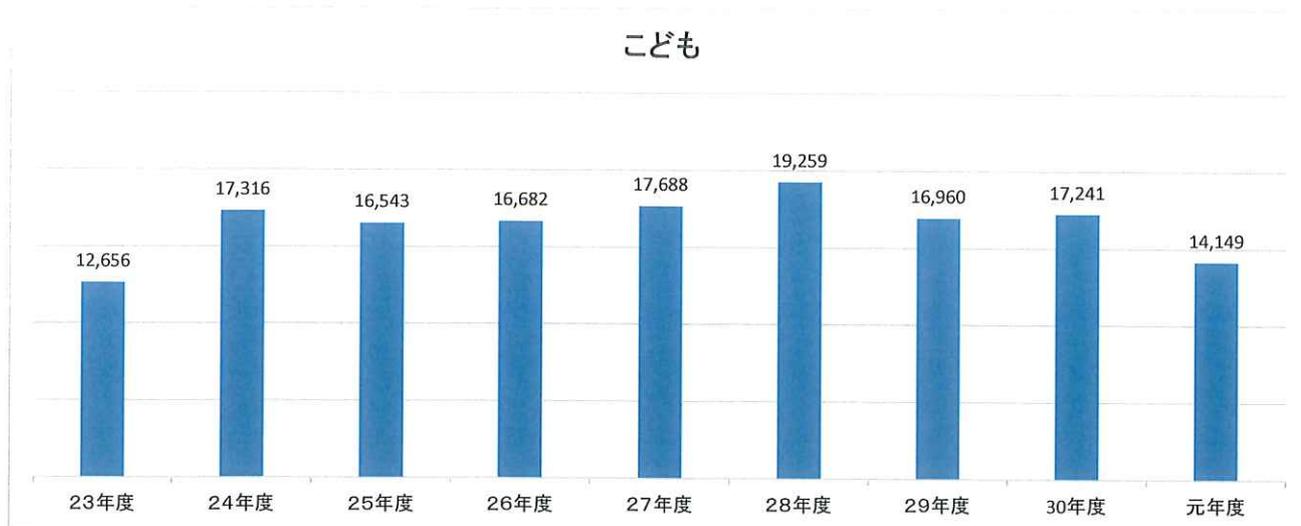
年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
外国人	10,438	17,607	23,537	27,347	34,620	39,782	44,301	48,489	40,611
(入園比率)	3.0%	4.3%	6.2%	6.5%	7.8%	8.4%	9.2%	12.1%	10.9%



こども入園者

(単位 人)

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
こども	12,656	17,316	16,543	16,682	17,688	19,259	16,960	17,241	14,149
(入園比率)	3.6%	4.2%	4.4%	3.9%	4.0%	4.1%	3.5%	4.3%	3.8%



催事・展覧会の開催状況



観月会での竹ガムランとバリ舞踊

1 催事

- (1) さくらそう展（横浜さくらそう会との共催）
4月17日(水)～23日(火)
江戸時代から園芸種として親しまれ、近年愛好者の増えている桜草約150点を展示しました。
期間中の入園者 6,348人（6,515人）
- (2) 新緑の演奏会
新緑の美しい季節に合わせ、旧燈明寺本堂で演奏会を行いました。
4月14日（日） 和楽器アンサンブル（アトリエ箏こだま）
4月18日（木） ジャズアンサンブル（ミッション ベイ ジャズ プリザベーションズ）
4月21日（日） 薩摩琵琶（錦心流中谷派襄水会）
- (3) 新緑の古建築公開—春草廬・聴秋閣〔重要文化財2棟〕
4月27日（土）～5月6日（月）
新緑との調和が際立つ重要文化財2棟と、あわせて三重塔を遠望できる聴秋閣奥の溪谷遊歩道を開放しました。
期間中の入園者 19,026人（17,332人）
また、関連企画として次の催しも行いました。
4/17～5/8 五月人形（旧矢筈原家住宅、ボランティア）
4/29、5/10 自然観察会（ボランティア）
5/2～5/8 軒菖蒲（旧矢筈原家住宅、ボランティア）
5/3～5/5 クイズで学ぶ三溪園「原富太郎と横浜」（三溪記念館ロビー、原三溪市民研究会）
5/6 新緑の一日庵茶会（白雲邸談話室、ボランティア）
- (4) 「修復展一時を超えて伝える」（NPO法人美術保存修復センター横浜との共催）
4月27日（土）～5月6日（月）
旧燈明寺本堂を会場に開催。
美術保存修復センター横浜が近年修復に携わった美術品の実物展示、修復実演を行ったほか、旧燈明寺本堂移築の際の模型や三重塔の相輪の一部、臨春閣の屋根葺替え工事の概要パネルの展示等により、三溪園の歴史的建造物の移築や維持保存の取組みなどを紹介しました。
期間中の入園者 19,026人（17,332人）
- (4) さつき盆栽展（横浜三溪園臯月会との共催）
5月19日（日）～6月2日（日）
樹齢数十年を超えるさつき盆栽約50鉢展示するとともに、苗木の無料配布、園芸相談、整形技術大会等を実施しました。
期間中の入園者 17,160人（15,641人）
- (5) 蛍の夕べ
5月17日（金）～5月26日（日）
外苑奥の流れに光る蛍の光を觀賞する催し。三重塔などをライトアップするとともに、金・土・日曜

日の週末には旧燈明寺本堂内で蛍の生態についてのビデオ上映を行いました。
成虫の羽化状態が悪く、開催期間前後を通して飛散数が少なく、最初の 3 日間は夜間の入園は無料としました。

期間中の入園者 6,974 人 (13,509 人)

- (6) 花しょうぶ展 (日本花菖蒲協会との共催)
6月10日(月)～6月16日(日)
鉢植えの花菖蒲を展示。200鉢の中から毎朝厳選した花 40～50 展を展示しました。
期間中の入園者 14,655 人 (6,222 人)
- (7) 早朝観蓮会
7月13日(土)～8月4日(日)の土・日曜日、祝日
早朝の爽やかな空気のなかで、咲いたばかりの蓮を楽しむ催し。
茎や葉を使った遊び体験や、蓮の葉シャワーの演出、種の抽選プレゼントなど、蓮に親しむ企画のほか、園内茶店 3 軒の協力で早朝観蓮会限定メニューを提供しました。
期間中の入園者 4,759 人 (5,353 人) (6:00～9:00)
- (8) 朝顔展 (横浜朝顔会との共催)
7月27日(土)～7月31日(水)
大輪朝顔、変化朝顔など約 250 鉢を展示し、あわせて園芸相談や鉢植え朝顔のプレゼント抽選会を行いました。
期間中の入園者 3,974 人 (2,288 人)
- (9) 横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開
—三溪園で楽しむ夏休み／三溪園と日本画の作家たち—
8月3日(土)～18日(日)
原三溪が住まいとした建物内部を公開し、横浜美術大学との共同による企画展「三溪園と日本画の作家たち」の作品展示を行った。あわせて、こどもから大人まで楽しめるワークショップや講座などを行いました。
期間中の入園者 11,706 人 (4,538 人)
8/3 三溪園の画帖を作ろう (「三溪園と日本画の作家たち」関連イベント)
8/11 みんなで大作に挑戦!～孔雀明王ぬり～ (「三溪園と日本画の作家たち」関連イベント)
8/12・13 紋切り遊び (八聖殿郷土資料館)
8/14 瓦の拓本 (ボランティア)
8/15 手彩色絵ハガキを作ろう (ボランティア)
8/16～18 お抹茶を点ててみよう!
(表千家同門会神奈川支部、茶道裏千家淡交会横浜支部、ボランティア)
- (10) 親子で楽しむザリガニ釣り
8月19日(月)～25日(日)
早朝観蓮会終了後、ザリガニ駆除を兼ねて蓮池と睡蓮池を開放しました。
期間中の入園者 4,630 人 (3,886 人)
- (11) フォトコンテスト入賞作品展
10月5日(土)～12月11日(水)
第 29 回三溪園フォトコンテスト「三溪園 四季のよそおい」をテーマに作品を募集。419 点の応募作品の中から、優秀作品 46 点を選出し、三溪記念館第 3 展示室に展示しました。
期間中の入園者数 103,013 人 (115,628 人)
- (12) 観月会
9月12日(木)～9月16日(月・祝)
三重塔など主要な建物をライトアップするとともに、外苑・旧燈明寺本堂前に舞台※を設え、音楽・舞踊を上演し、月見の風情を楽しんでいただきました。

※例年舞台としている臨春閣は屋根葺替え工事のため、変更しました。

入園者数 2,716 人 (2,554 人)

9/12 薩摩琵琶 (錦心流中谷派囊水会)

9/13 サックス&ピアノ (シャンティドラゴン)

9/14 雅楽 (横浜雅楽会)

9/15 箏曲 (琴美会)

9/16 竹ガムランとバリ舞踊 (桜田素子・小泉ちづこ)

また、期間中は次の催しなども実施した。

9/14(土) 中秋の一日庵 月待ちの茶会 (ボランティア、蓮華院)

9/15(日)~9/23(月・祝) 横浜カーフリーデー2019&モビリティウィークのサテライト会場として連携し、こどもの入園料を無料としました。

(13) 初秋の演奏会 (錦心流中谷派囊水会)

9月29日(日)

旧燈明寺本堂で薩摩琵琶の演奏会を行いました。

(14) 第8回本牧かぼちゃ祭りへの参画

10月26日(土)

米軍住宅があったところから行われてきたハロウィンを地域の催しとした企画で、近隣住民に三溪園の認知と親近感をさらに深めてもらうために参画。スタンプラリーのゴール地点として旧矢筈原家住宅を提供し、仮装参加者の入園料を免除しました。

入園料免除者数 637 人 (741 人)

(15) 菊花展 (横浜菊花会主催)

10月26日(土)~11月24日(日)

横浜菊花会および小菊盆栽芸術協会の協力により秋の代表花である菊花の作品(大菊・懸崖・古典菊・小菊盆栽など)約500点を展示し、園芸相談、苗の販売、出品団体による見どころトークも実施しました。

また、期間中の関連企画として、11月3日~24日の期間。旧矢筈原家住宅で「菊の生け込み」の飾りつけを行いました。(五十嵐道子氏、横浜菊花会)

期間中入園者数 49,287 人 (59,489 人)

(16) 紅葉の古建築公開一聴秋閣・春草廬 (重要文化財2棟)

11月23日(土・祝)~12月8日(日)

園内随一の紅葉の見どころである2棟の建物を公開。

紅葉越しに三重塔が望める聴秋閣奥の遊歩道もあわせて開放しました。

期間中入園者数 38,630 人 (57,152 人)

11/30、12/10 紅葉の自然観察会 (ボランティア)

11/24 秋の一日庵茶会 (ボランティア、白雲邸)

(17) ミュージアムコンサート in 三溪園(クラシック ヨコハマ 2019 参画企画)

12月23日(月)

鶴翔閣を会場に提供し、クリスマスシーズンに合わせた選曲のクラシックコンサートを上演しました。

福島さゆり(フルート)、浜松笑美(オーボエ)、後藤詩絵(クラリネット)、栗林愛理(ファゴット)

入場者数 約 100 人

(18) 三溪園で過ごすお正月 (鶴翔閣内部特別公開)

元日(水・祝)~3日(金)

横浜市文化財鶴翔閣を公開し、箏曲(元日)、庖丁式(2日)、和妻(3日)の催しでお客様を迎えました。その他、花飾りや正月らしい遊び道具、鶴翔閣紹介ビデオの上映を行いました。

入場者数 3,999 人 (3,745 人)

- (19) 盆栽展（横浜三溪園臯月会共催）
 1月12日（日）～26日（日）
 横浜三溪園臯月会の協力によりマツ、ウメ、サツキや添え草などの盆栽約 50 鉢を展示し、新春を迎えた庭園に彩りを添えていただきました。
 期間中の入園者 8,848 人（6,677 人）
- (20) 初天神
 1月25日（土）
 本牧神社宮司による祈祷のあと、参拝者に「合格祈願」の鉛筆を配布しました。
 参拝人数 約 50 名
- (21) 観梅会
 2019年2月8日（土）～2月27日（木）※予定は3/1まで。
 園内に咲く梅の花とともに次のとおり関連の催しも行いました。
 新型コロナウイルス感染拡大により、2/28以降は中止としました。
 麦茶の接待 期間中毎日
 梅などの盆栽展 2月9日（日）～16日（日）
 猿まわし 2月8・9・11・15・16・22・23・24日
 （期間中の土・日曜日・祝日）※2/29は中止
 お囃子 3月1日（日）※中止
 俳句大会 2月23日（日）
 期間中の入園者 19,553 人（28,378 人）
- (22) 合掌造りてみるお雛様（「横浜ひなめぐり」3施設連携企画）
 2月6日（水）～3月3日（火）
 5組の雛人形を、前後期に分けて合掌造りに飾りました。
 また、同時期に雛人形を展示する近隣施設の横浜人形の家、旧柳下邸と連携し、“横浜ひなめぐり”（2/15～3/3）と題して、スタンプラリー、チラシ（スタンプラリーシートを兼用）の制作・配布、入園料の割引を行いました。
 ※新型コロナウイルス感染拡大により2/29より旧矢筈原家住宅は閉館、ただし雛人形は外から観覧可とし、“横浜ひなめぐり”も継続（他2館は閉館につき中止）
 期間中の入園者 23,080 人（24,445 人）
- (23) 観桜の夕べ
 3月27日（金）～4月5日（日）
 新型コロナウイルス感染拡大により、2/28以降は中止としました。

2 展示

- (1) 常設展 ※22年度から“所蔵品展”に名称変更
 季節やテーマにより、三溪自筆の書画、ゆかりの作家作品、臨春閣障壁画などの所蔵品を展示しました。
- 三溪の書画 万緑の景／ゆかりの作家 初夏の彩り／臨春閣の障壁画 狩野常信《瀟湘八景図》／ゆかりの作家－塩出英雄
 4月19日（金）～5月29日（水）、第1・2展示室
 - 三溪の絵画 夏の眺め／ゆかりの作家 小茂田青樹／三溪の書簡から／臨春閣の替え襖 中島清之《菖蒲図》／夏の彩り
 5月31日（金）～7月10日（水）、第1・2展示室
 三溪園の日本画から
 5月30日（木）～7月9日（火）、第3展示室

- 三溪の芸術／臨春閣の障壁画 伝狩野山楽《村雨松林図》／三溪旧蔵の工芸品
8月20日（火）～10月1日（火）、第1・2展示室
《四季草花図》復元制作
8月19日（月）～10月1日（日）、第3展示室
- 三溪の書画 旅の景色／ゆかりの作家 牛田雞村／雞村と三溪の書簡／臨春閣の障壁画 狩野探幽《琴棋書画図》／十三夜／漆芸品から
10月3日（木）～11月6日（水）、第1・2展示室
- 三溪の書画 秋の風物／ゆかりの作家 安田鞞彦／臨春閣の障壁画 川面義雄《浜松図》／障屏画に囲まれて
11月8日（金）～12月11日（水）、第1・2展示室
- ※12月15日（日）に三溪記念館展示ケースガラス清掃のため、第1・2・3展示室を閉室
- 三溪の絵画 冬のよそおい／ゆかりの作家 横山大観／臨春閣の替え襖 中島清之《鶴図》／万緑の情景
12月18日（水）～1月29日（水）、第1・2展示室
- 三溪の絵画 梅のかおり／近代の仏画 観山・寛方・鞞彦／臨春閣の替え襖 中島清之《梅図》／原家の調度
1月31日（金）～2月28日（火）、第1・2展示室
- ※新型コロナウイルス感染拡大により、三溪記念館は2月29日～6月21日（日）まで臨時休館としました。

（2）企画展

- 三溪園と日本画の作家たち（横浜美術大学と共催）
三溪が支援した作家たち／三溪による観山支援／《四季草花図》復元制作
7月12日（金）～8月18日（日）、第1会場 三溪記念館 第1・2・3展示室
景聴園+越智波留香 Reload:日本画をリロードする
8月3日（土）～18日（日）、第2会場 鶴翔閣

庭園・歴史的建造物等のおもな整備・修理の状況

庭園の整備

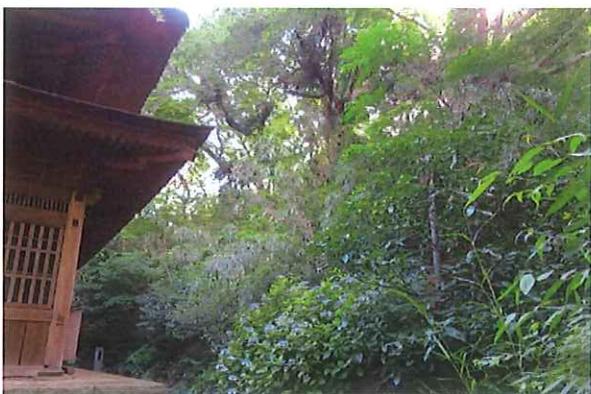
● 植栽の整備



(鶴翔閣西側山林部 施工前)



(鶴翔閣西側山林部 施工後)



(旧東慶寺仏殿南側山林部 施工前)



(旧東慶寺仏殿南側山林部 施工後)



(春草廬南側山林部 施工前)



(春草廬南側山林部 施工前)



(蓮池北側山林部 施工前)



(蓮池北側山林部 施工後)

● 台風 15 号・19 号被害復旧



(春草廬近くの大イチョウ 施工前)



(春草廬近くの大イチョウ 施工後)



(春草廬周辺山林部 施工前)



(春草廬周辺山林部 施工後)

●大池東岸の修景整備



(正門側からの景色 施工前)



(正門側からの景色 施工後)



(西側からの景色 施工前)



(西側からの景色 施工後)



(観心橋附近 施工前)



(観心橋附近 施工後)

歴史的建造物等の整備

●重要文化財 臨春閣の修理

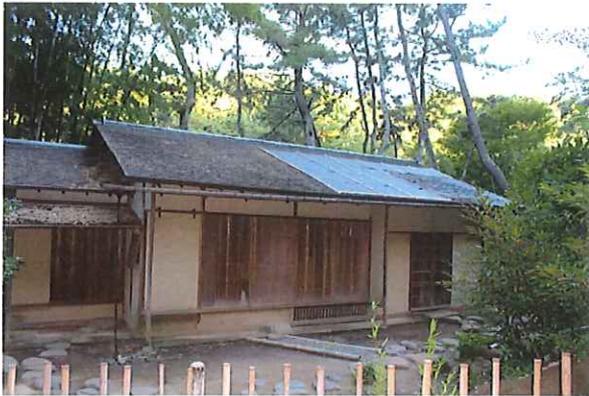


(檜皮葺屋根葺替施工状況)

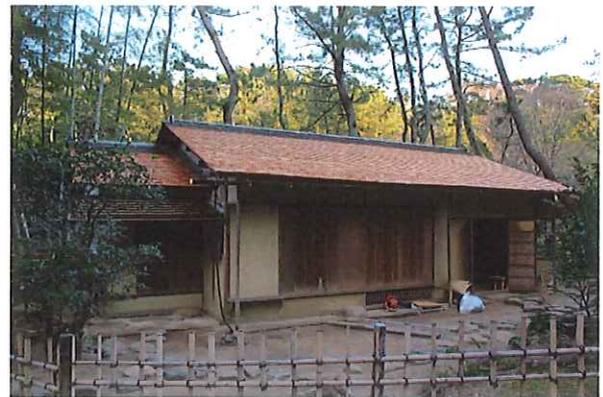


(耐震壁施工のための解体状況)

●小破損の修理



(蓮華院屋根葺替工事 施工前)



(蓮華院屋根葺替工事 施工後)



(鶴翔閣棟積みなおし・差茅工事 施工前)



(鶴翔閣棟積みなおし・差茅工事 施工後)

●文化財建造物の防蟻処理

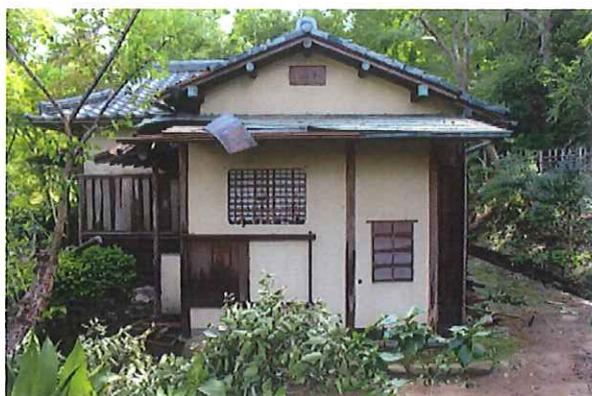


(御門防蟻処理施工状況)



(御門防蟻処理施工状況)

●台風 15 号・19 号被害復旧修理工事



(林洞庵 工事前)



(林洞庵 工事後)

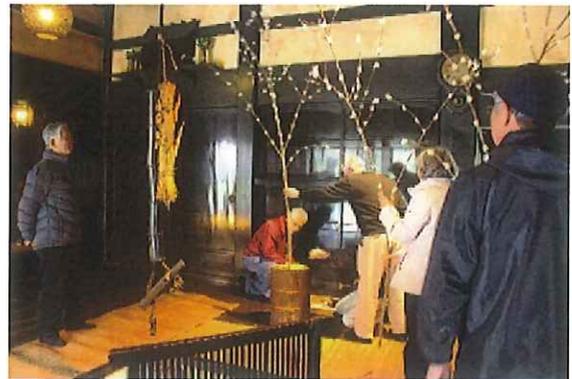


(旧燈明寺三重塔 工事前)



(旧燈明寺三重塔 工事後)

ボランティア活動



合掌造りでの花餅の飾りつけ

ガイド・インフォメーション（ガイドボランティア）

来園者に対して庭園・歴史的建造物の由緒や、四季の花・イベントといった旬の話題・情報など、三溪園の多彩な魅力を来園者に伝える活動を行った。

おもに個々の来園者への情報提供や要望にあわせたガイドを実施したほか、事務局で受付けた 10 名以上の団体予約のガイド、毎日 11 時と 14 時の 2 回 1 時間のガイドツアーを行った。

前年度に曜日で開始した英語による定時ガイドツアーは、2019 年 10 月から毎日実施となった。

合掌造りの運営・管理（合掌造りボランティア）

三溪園内の歴史的建造物の中で唯一常時内部を開放し、飛騨地方の民俗資料（民具）を展示している合掌造りの民家建築・旧矢筈原家住宅の屋内外の管理を行うとともに、ガイドや年中行事・季節の飾りつけ、催しなどを行った。

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| ●五月人形飾り | 4月17日（水）～5月8日（水） |
| ●軒菖蒲飾り | 5月2日（木）～8日（水） |
| ●七夕飾り | 6月27日（木）～7月8日（月） |
| ●お蚕の飼育展示 | 7月2日（火）～29日（月）※群馬県富岡市の企画に参画 |
| ●あさがおの栽培 | 8～10月 |
| ●十五夜月見団子飾り | 9月10日（火）～9月29日（日） |
| ●十三夜月見団子飾り | 10月9日（水）～10月16日（水） |
| ●重陽の節句飾り | 11月3日（土・祝）～11月18日（日） |
| ●吊るし柿飾り | 11月8日（金）～12月8日（日） |
| ●花餅飾り | 12月17日（火）～ |
| ●大掃除 | 12月25日（水） |
| ●正月飾り | 12月26日（木）～1月7日（火） |
| ●雛人形飾り | 2月5日（水）～3月4日（水）※飾り替え 2月19日（水） |
| ●薪割り | 2月8日（土）※庭園ボランティアと共同 |
| ●セルフガイドシート運用 | 日本語、英語、中国語（繁・簡）、フランス語、スペイン語 |
| ●プランターの花・野菜栽培 | 通年 |

庭園の保守・管理《庭園ボランティア》

庭園景観維持のため、除草や落ち葉掃除などの手入れを行った。

《おもな自主活動》

- | | |
|----------------|--------|
| ● 内苑の除草・落ち葉掃除 | 通年 |
| ● 竹新子取り | 4～5月 |
| ● 花菖蒲の花がら摘み | 5～6月 |
| ● くもの巣とり | 6～10月 |
| ● 主園路・ベンチ周り草取り | 7～9月 |
| ● つる草取り | 7～9月 |
| ● 公開建物周辺の草取り | 10～11月 |
| ● 落ち葉掃除 | 11～3月 |



《全体活動》

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| ● 内苑流れ清掃 | 4月24日(土)、11月13日(水) |
| ● 鶴翔閣裏山整備 | 5月4日(土) |
| ● 蓮や花木等の施肥 | 5月10日(金) |
| ● 旧松風閣の草取り | 5月18日(土)、9月21日(土) |
| ● 花菖蒲花がら摘み・梅実取り | 6月4日(火) |
| ● 外苑流れ掃除 | 9月7日(土)、10月14日(月・祝)、
11月17日(日) |
| ● 花菖蒲田施肥 | 9月16日(月・祝)、10月10日(木) |
| ● 外苑落葉清掃 | 11月17日(日)、12月26日(木) |
| ● 内苑落葉清掃 | 12月19日(木) |
| ● 合掌造り薪割り | 2月8日(土) |
- ※合掌造ボランティアと共同



同好グループ

● 動植物の調査・記録

見ごろの花や渡り鳥の情報などを正門入口の案内板に掲示し、来園者に旬の情報を提供するほか、毎月10日に自然観察会を実施。

* 新緑の自然観察会

- 正門集合 各回定員 30名
- 4月29日(月・祝)
- 10:30～11:30 参加者: 36名
- 13:30～14:30 参加者: 24名
- 5月10日(金)
- 10:30～11:30 参加者: 25名
- 13:30～14:30 参加者: 8名



* 紅葉の自然観察会

- 正門集合 各回定員 30名
- 11月30日(土)
- 10:30～11:30 参加者: 38名
- 13:30～14:30 参加者: 23名
- 12月10日(火) 10:30～11:30
- 10:30～11:30 参加者: 約47名
- 13:30～14:30 参加者: 約31名



●茶道研究

毎月1回園内の歴史的建造物を使用して研修を実施。茶道を通じた三溪園の魅力発信と、研修成果の発表の場として春・夏・秋に来園者向けの茶会を開催した。

*新緑の一日庵茶会

5月6日(月・祝) 会場：臨春閣 天楽の間
時間：10:30-/11:00-/11:30-/12:00-/
13:00-/13:30-/14:00-/14:30-
定員：各回20名 合計160名(先着順)
参加費：¥500.- (菓子付き)
参加者：151名



*はじめての茶道体験(三溪園で楽しむ夏休み-横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開-)

8月16日(金) 会場 鶴翔閣
時間：11:45~12:30、13:00~14:30
定員：120名(先着順)
参加費：500円(菓子付き)
参加者：98名

*夏の一日庵 蓮見の茶会

8月4日(日) 会場：各組閣 茶の間棟
時間：9:00-/ 9:30-/10:00-/10:30-/11:00-/11:30-
定員：各回20名 合計120名(先着順)
参加費：500円(菓子付き)
参加者：113名

*中秋の一日庵 月待ちの茶会

9月14日(土) 会場：蓮華院
時間：14:00-/14:30-/15:00-/15:30-/
16:00-/16:30-/17:00
定員：各回15名 合計105名(先着順)
参加費：500円(菓子付き)
参加者：84名



*秋の一日庵茶会

11月24日(日) 会場：白雲邸 談話室
時間：10:30-/11:00-/11:30-/12:00-/
13:00-/13:30-/14:00-/14:30-
定員：各回24名 合計168名(先着順)
参加費：500円(菓子付き)
参加者：153名



●英会話ガイド研究

毎月1回研修を実施。特殊な用語が多い三溪園のガイドで必要な知識を蓄えるとともに、外国人に理解されやすい言い回しなどを研究。

《毎月25日 11:00~15:00 (三溪記念館 応接室または会議室など)》

市民や地域、他機関とのおもな協働・連携



横浜美術大学との共催事業
「三溪園と日本画の作家たち」展

NPO法人神奈川動物ボランティアの会との連携

年々増加している園内の野良猫の繁殖抑止のため、避妊・去勢処置および餌やりの協力体制を調えました。

学校機関への実習や研究フィールドとしての場の提供

日本ガーデンデザイン専門学校、京都造形芸術大学など造園系学科・コースをもつ専門学校や大学の庭園管理実習を年間 33 日受け入れました。(黒松の剪定や生垣の刈込、流れの掃除、竹垣の修理など) また、同校学生の日本文化を学ぶ実習(茶道・華道)の場として春草廬・白雲邸を提供しました。

本牧地域との連携、協働

春と秋に開催している恒例の催しを共催の形で参画した。パンフレットの共同作成やスタンプリーのゴール会場の提供、参加者への入園料免除得点の付与を実施し、三溪園と本牧地域への集客と魅力発信を行った。

- 本牧さくら祭り 2019年3月24日(土)～4月8日(日)
- 本牧かぼちゃ祭り 10月26日(土)

NPO 法人美術保存修復センター横浜企画との「修復展一時を超えて伝える」の共催

同センターが近年修復した美術品の実物展示、修復実演のほか、三溪園の歴史的建造物の移築や修理事業を開始した臨春閣屋根葺替え工事概要のパネル展示など維持保存の取組みなどを紹介しました。

4月27日(土)～5月6日(月・振)

原三溪市民研究会との連携

- 「クイズで学ぶ三溪園～原富太郎と横浜」 5月3日(金)～5日(日)
昨年度に続き、三溪記念館のロビーを会場に、来園者に三溪の業績等をクイズ形式でわかりやすく紹介していただきました。
- 第6回シンポジウム「原三溪のたたずまい」 12月14日(土)
原三溪没後80年記念として三溪園 鶴翔閣を会場に開催されました。

アメリカ・サンディエゴの高校生バンドによるジャズ演奏会

旧燈明寺本堂を演奏会場として提供し、交流事業で来浜した高校生ジャズバンド・Mission Bay Jazz Preservationists による演奏会を開催しました。

4月18日(木)

杉田梅塾による梅しごと(梅ジュース・梅酒づくり)の実演会

三溪園と縁のある杉田梅の普及活動にとりくむ杉田・梅塾代表の市原由貴子氏を講師に迎え、梅の収穫時期に合わせ、梅ジュースや梅酒づくりの実演会を実施しました。

6月2日(日)

横浜カーフリーデー2019 との連携

自動車に頼らない環境にやさしい街づくりを目指す全世界的なイベントである「横浜カーフリーデー2019」と連携し、9月22日の当日を含むモビリティウィークの期間中（9月15日～23日）、該当のチラシ提示によるこども入園料を免除しました。

横浜美術館「原三溪の美術—伝説の第コレクション」との連携

開館30周年、原三溪生誕150年・没後80年を記念して7月13日～9月1日に開催された展覧会と連携し、観覧料・入園料の相互割引を実施したほか、同館と三溪園を結ぶ無料のシャトルバスを、横浜観光コンベンションビューローの協力により5日間（8月19日～21日・23日・26日）運行しました。また、車内では三溪園ボランティアによる三溪園の概要説明も行いました。

横浜美術大学との共催による「三溪園と日本画の作家たち」の開催

原三溪没後80年を記念し三溪が当時の新進作家たちを支援した事績にちなんだ企画としました。

新旧の日本画作家の作品を、三溪記念館と鶴翔閣の2会場で展示・紹介したほか、関連の講演会やギャラリートーク、ワークショップも行いました。とくに関東大震災で失われた松風閣にあった下村観山筆の障壁画「四季草花図」の復元画は注目を集めました。

開催期間：7月12日（金）～8月18日（日） ※鶴翔閣の会場は8月3日から。

横浜市の企画催事との連携・受入れ

●文化観光局「三溪園和音まつり—音故知新」

ラグビーワールドカップ関連企画として、園内のライトアップと旧燈明寺本堂での音楽ライブを実施。開催日の開園時間を19:00まで延長したほか、16:30以降の入園料金を無料とし、無料シャトルバスを運行しました。

9月20日（金）～11月1日（金）の期間中の19日間

●経済局「ヨコハマ 和の匠展」

鶴翔閣を会場に、技巧を凝らした横浜マイスターの作品の展示・紹介とともに、ワークショップではマイスター指導による技能体験も来場者に提供しました。

10月29日（火）～11月1日（金）

横浜市中図書館開館30周年事業への協力・連携

同図書館企画の「三溪園の四季」写真展（11月19日～12月8日）に写真を提供し、また講演会（12月8日）に講師を派遣しました。

横浜市陶芸センターとの共催による「楽茶碗を作る、楽茶碗で点てる—作陶と点前体験」の開催

茶碗の作陶（1月26日）と茶の点前体験（2月24日）を組み合わせた講座を、隣接する横浜市陶芸センターとの連携・共催により実施しました。

建物使用の状況

資料6

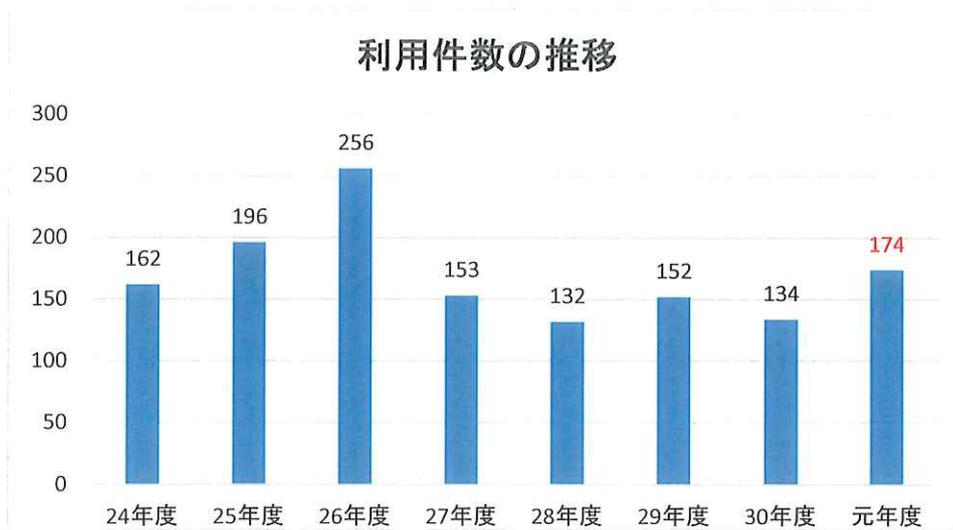
古建築
建物別

(単位件)

白雲邸	月華殿	金毛窟	春草廬	蓮華院	臨春閣玄関	林洞庵	横笛庵	燈明寺本堂	その他	合計
57	8	2	11	19	8	59	2	7	1	174

利用件数の推移

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
件数	162	196	256	153	132	152	134	174



鶴翔閣

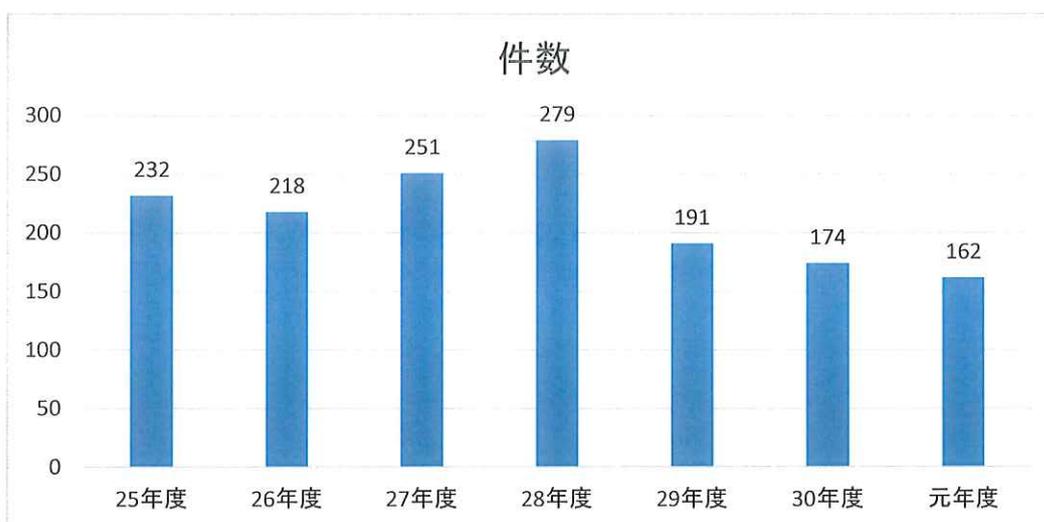
目的別

(単位件)

披露宴	茶会	会食	句会	撮影	展示会	会議	その他	合計
62	12	9	15	36	22	3	3	162

利用件数の推移

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
件数	232	218	251	279	191	174	162



営業活動

送客頻度の多い首都圏や日帰り圏内を中心とした旅行会社への訪問を主軸に営業を行いました。三溪園の認知度を高めるとともに、多様な団体利用に向けた誘致を積み重ねることで、集客を図りました。

国内旅行会社への営業（訪問先都道府県と日数）

令和元年度	訪問地域と日数						合計
4月	千葉 1	茨城 1	東京 4				6
5月	静岡 4	埼玉 1	千葉 1				6
6月	群馬 2	岐阜 2	三重 1	東京 3	千葉 1	千葉+ 神奈川 1	10
7月	群馬 1	九州 4	埼玉+ 東京 1	神奈川 1			10
8月	青森 1	秋田 2	岩手 1	長野 3	東京 1	千葉 1	9
9月	茨城 2	福島 1	神奈川 2	栃木 1			6
10月	富山 1	石川 1	福井 1	東京 4	千葉 1	埼玉 1	9
11月	福島 2	宮城 1	新潟 4	千葉 1	茨城 1	東京 1	10
12月	長野 2	山梨 2	埼玉 1	東京 2			7
1月	茨城 2	埼玉 2	神奈川 1	千葉 1			6
2月	栃木 2	千葉 2	埼玉+ 東京 1	埼玉+ 東京 1	東京 1		7
3月	新型コロナウイルスの影響で出張取り止め（名阪 2、神奈川 2 予定）						0
年間日数							86

営業活動日数 86 日（前年度 87 日）・通算訪問件数 1,234 件（前年度 1,247 件）。

※商談会で面談した旅行会社は訪問件数には含みません。

団体誘致のおもな成果

- * 団体での入園者数 97,225 人（前年度 112,548 人）
- * 観光券契約（あっ旋契約）を結んでいる旅行会社からの送客数
10,310 人（前年度 13,936 人）
- * 旅行会社の企画等によるツアーの受入れ
岐阜市境川中学校修学旅行（近畿日本ツーリスト岐阜支店）の受入れ

旅行会社向け商談会への出展・参加（場所）

- 6月 インバウンド商談会（神奈川県主催、中央区）
- 8月 東京都旅行業協会城北地区会員との商談会（東旅協城北地区主催、台東区）
- 11月 旅行会社との商談会（横浜観光コンベンションビューロー主催、仙台市）
- 11月 インバウンド商談会（神奈川県主催、港区）
- 2月 インバウンド商談会（神奈川県主催、港区）

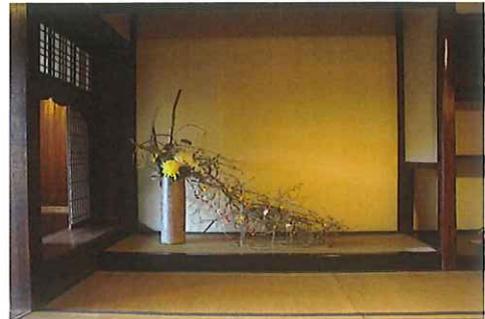
街頭キャンペーン

- 5月 石川町駅（リアル横濱観光振興協議会・J R石川町駅）
- 11月 新潟駅（リアル横濱観光振興協議会・J R横浜支社）

おもな海外の旅行会社・コンベンション関連業者等の視察受け入れ

- 10月 クルーズ会社

広報・宣伝活動の状況



菊花展関連企画、旧矢筈原家住宅内での菊の生け込み

印刷物

(1) リーフレット

- 「花と行事 2020」案内リーフレット 150,000 部
- 三溪園施設案内リーフレット 80,000 部
- 英語 50,000 部、簡体字・繁体字・韓国語 各 10,000 部

(2) ポスター・チラシ

- 蛍のタベ・さつき盆栽展 B2 ポスター 400 枚、A4 チラシ 24,000 枚
- 夏の催し（三溪没後 80 周年） B2 ポスター 420 枚、A4 チラシ 50,000 枚
- 夏休みこどもパスポート 215,000 枚
- 観月会・フォトコンテスト B2 ポスター 430 枚、A4 チラシ 35,000 枚
- 菊花展・紅葉の古建築公開 B2 ポスター 400 枚、A4 チラシ 27,000 枚
- 正月・初天神・盆栽展 B2 ポスター 400 枚、A4 チラシ 28,000 枚
- 観梅会・俳句展 B2 ポスター 400 枚、A4 チラシ 28,000 枚
- 観桜のタベ・さくらそう展 B2 ポスター 400 枚、A4 チラシ 28,000 枚
- 新緑の古建築公開 B2 ポスター 400 枚、A4 チラシ 28,000 枚
- 横浜駅構内通路掲出用 B1 ポスター（早朝観蓮会ほか） 43 枚
- 横浜駅構内通路掲出用 B1 ポスター（菊花展・紅葉） 14 枚
- 交通局との連携に伴う市営交通掲出用 B3 ポスター（紅葉、梅の 2 回） 4,100 枚
- 紅葉期プロモーションのための東急線等 7 駅構内掲出用 B 全判ポスター 20 枚

(3) その他

- 招待券増刷 20,000 枚

広告掲載等

- (1) 横浜観光コンベンション・ビューロー「横浜ビジターズガイド」英文版
- (2) 東京新聞（春の博物館特集 4 月～5 月、秋の博物館特集 9 月～11 月）
- (3) 車内広告ポスター掲出（ぶらり三溪園BUS、横浜市営地下鉄・バス車内）
※横浜市提供の無料掲出枠を利用。（紅葉、梅の 2 回、約 1 か月間）
- (4) 子ども環境情報紙「エコチル」（横浜版 7・8 月合併号）
- (5) 東急線等 9 駅構内へのポスター掲出
（東急東横線 代官山・学芸大学・自由ヶ丘・武蔵小杉、JR 線 桜木町、みなとみらい線 みなとみらい・元町中華街・日本大通り・横浜 11 月 18 日～12 月 3 日）

おもなメディア掲載・放送等

別添一覧をご参照ください。

おもな宣伝・協賛・タイアップ事業

(1) 行政・観光振興団体など

- 横浜市文化観光局「和音まつりー「音」故知新」
9月20日～11月1日の19日間
- 横浜市経済局「ヨコハマ和の匠展」11月29日～11月1日
- 関東経済産業局主催「絹の道」を巡るスタンプラリー 10月～1月31日
- 「クラシック横浜 2019」ミュージアムコンサート（鶴翔閣）12月23日

(2) 他機関・団体ほか

- 今日庵茶道文化検定合格者証提示者への入園料金割引連携
- 株式会社崎陽軒、株式会社 KADOKAWA との連携によるコラボレーション弁当の企画・販売
平成30年3月31日（土）・4月1日（日）
- 横浜市交通局「みなとぶらりチケット」入園料金割引連携
- 「修復展～時を超えて伝える」（NPO 法人美術保存修復センター）
（旧燈明寺本堂） 4月27日～5月6日
- 有料音声ガイドアプリ「Pokke（三溪園版）」
- 表千家同門会神奈川県支部「茶の湯文化にふれる市民茶会」（春草廬）
4月21日
- KADOKAWA「Premium Walker」臨春閣屋根葺替え修理工事見学と茶道体験
8月25日
- 「本牧かぼちゃ祭り」の共催
スタンプラリーのゴール地点として旧矢箆原家住宅を提供 10月26日
- 原三溪市民研究会第5回シンポジウム
「原三溪のたたずまい」12月14日
 - 菊の生け込み（フラワーデザイナー五十嵐道子氏、横浜菊花会、旧矢箆原家住宅）
11月3日～24日
- 横浜市陶芸センターとの事業連携「楽茶碗を作る、楽茶碗で点てる」
1月26日（茶碗づくり）、2月24日（お点前体験）
- 「高円宮妃殿下写真展一鳥たちの煌めきⅣ」 1月16日～1月22日（白雲邸）
- 「横浜ひなめぐり」スタンプラリーキャンペーン
横浜人形の家、旧柳下邸との3館共通チラシの作成・配布、入場料割引、スタンプラリーの実施（プレゼント進呈） 2月15日～3月3日

(3) おもな海外メディア取材の受け入れ

- 4月3日 New Zealand Herald（ラグビーワールドカップ開催地取材）
- 12月18日 インドネシア インフルエンサー
- 9月3日 ラグビーワールドカップメディア招聘事業ツアー
（アメリカ、イギリス、オーストラリア）
- 9月10日 JNTO オーストラリア事務所ニューージーランドメディア招聘事業
- 9月30日 エクスペディアオンライントラベルガイド（オーストラリア）

- 11月19日 中国インフルエンサー
- 11月28日 中国パワーブロガー
- 12月10日 中国インフルエンサー
- 2月13日 ムスリム系「Halal Zilla」

おもな掲載・放送等

掲載日	媒体種別	媒体名	媒体社名	内容
2019/4/5	テレビ	グッド！モーニング	テレビ朝日	(中継)横浜市・三溪園。
2019/4/16	新聞	東京新聞 横浜神奈川	中日新聞社東京本社	臨春閣の屋根ふき替え見学会 横浜・三溪園で来月11日 竹くぎ打つ体験も
2019/4/17	新聞	東京新聞 川崎	中日新聞社東京本社	屋根ふき替えなど「臨春閣」で見学会 来月11日、横浜・三溪園
2019/4/18	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	根岸 修復展～時を超えて伝える～
2019/5/11	WEB	Yahoo! ニュース	ヤフー株式会社	横浜・三溪園「臨春閣」屋根ふき替え工事
2019/5/20	雑誌	美術の窓	生活の友社	近代日本美術界の立役者 原三溪を知っていますか?
2019/5/27	WEB	美術手帖	株式会社美術出版社	「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展が横浜美術館で開催。美術品から茶道具まで、三溪旧蔵の名品が一室に
2019/6/7	新聞	神戸新聞	神戸新聞社	文化 現代に花開く「夢の美術館」 「原三溪の美術」展 来月13日から横浜
2019/6/22	テレビ	もしもツアーズ	Fジテレビ	「三溪園」は、横浜銀行の初代頭取を務めた原三溪によって作られた庭園で、園内には約300株のあじさいが咲いているという。一行は、日本最大級の合掌造りとあじさいの絶景を楽しんだ。中澤さんは、「サッカーで例えると中村俊輔と小野伸二が同時に見られるくらいの凄さ」と表現した。
2019/7/1	雑誌	家庭画報	世界文化社	今月のART 美術 『生誕150年・没後80年記念 原三溪の美術 伝説の大コレクション』
2019/7/6	雑誌	横濱	神奈川新聞社	横浜の風景 渡辺真理 第1回 三溪園に憩う
2019/7/10	WEB	エキサイトニュース	エキサイト株式会社	「三溪園」で知られる実業家・原三溪の伝説のコレクションを大公開
2019/7/10	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	季刊誌横濱 新連載エッセイ 横浜の風景「三溪園に憩う」
2019/7/12	WEB	美術手帖	株式会社美術出版社	「驚異の目利き」と呼ばれた原三溪の大コレクション。横山大観や尾形光琳による名作も
2019/7/12	テレビ	Newsモーニング・サテライト	テレビ東京	三溪園(横浜市中央区)の映像。(中継)東京・渋谷駅前。
2019/7/13	WEB	@nifty ニュース	ニフティ株式会社	稀代の実業家にして文化人、原三溪の全貌に迫る『原三溪の美術』展開幕
2019/7/13	WEB	auヘッドライン	KDDI株式会社	稀代の実業家にして文化人、原三溪の全貌に迫る『原三溪の美術』展開幕
2019/7/13	WEB	Yahoo! ニュース	ヤフー株式会社	稀代の実業家にして文化人、原三溪の全貌に迫る『原三溪の美術』展開幕
2019/7/13	WEB	グノシー	株式会社Gunosy	稀代の実業家にして文化人、原三溪の全貌に迫る『原三溪の美術』展開幕
2019/7/13	新聞	日本経済新聞(東京)	日本経済新聞社東京本社	「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展 貫いた無私 極めた目利き
2019/7/13	新聞	日本経済新聞(札幌)	日本経済新聞社札幌支社	「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展 貫いた無私 極めた目利き
2019/7/13	新聞	日本経済新聞(名古屋)	日本経済新聞社名古屋支社	「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展 貫いた無私 極めた目利き
2019/7/13	新聞	日本経済新聞(大阪)	日本経済新聞社大阪本社	「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展 貫いた無私 極めた目利き
2019/7/13	新聞	日本経済新聞(福岡)	日本経済新聞社西部支社	「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展 貫いた無私 極めた目利き
2019/7/18	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	照明灯「三溪園」
2019/7/20	雑誌	Yokohama Walker	KADOKAWA	Premium Walker 三溪園 体験&見学がいっぱい「夏の三溪園満喫」ツアー
2019/7/21	雑誌	趣味の園芸	NHK出版	イベント情報 まさに旬!出かけてみたいアサガオイベント「朝顔展」三溪園
2019/7/23	WEB	朝日新聞デジタル&M	株式会社朝日新聞社	「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展とあわせて横浜散策を満喫! 嬉しい近隣ホテルや商業施設とのタイアップが盛りだくさん。
2019/7/23	WEB	読売新聞(YOMIURI ONLINE)	株式会社読売新聞東京本社	「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展とあわせて横浜散策を満喫! 嬉しい近隣ホテルや商業施設とのタイアップが盛りだくさん。
2019/7/23	WEB	いまトピ	エヌ・ティ・ティ・テレソナント株式会社	【幻の「原三溪美術館」】横浜に里帰りした伝説の大コレクション
2019/7/23	WEB	goo ニュース	エヌ・ティ・ティ・テレソナント株式会社	横浜美術館「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展が開催中 国宝・重要文化財30件以上が集結
2019/7/23	テレビ	ひるまえほっと～関東～	NHK総合・東京	横浜美術館(横浜・西区)で原三溪の大規模なコレクション展が開かれている。三溪はコレクターとして5000点以上の美術品を収集。三溪園ガイドボランティア・廣島亨は原三溪市民研究会に所属し月に2回、三溪の漢詩の読み解きなどを行っている。「原三溪市民研究会により展示」8月3日～9月1日、横浜美術館アートギャラリーにて開催。開園間もない頃の三溪園入口の映像。横浜美術館学芸員・長谷川珠緒のコメント。(中継)横浜。
2019/7/23	新聞	埼玉新聞	埼玉新聞社	主な企画展 原三溪の美術—伝説の大コレクション 三溪園を作った実業家・原三溪の、名品コレクション展
2019/7/25	WEB	リビング田園都市Web	株式会社サンケイリビング新聞社	「三溪園」の横浜市指定有形文化財「鶴翔閣」公開
2019/7/25	WEB	タウンニュース	株式会社タウンニュース社	4視点で観る原三溪
2019/7/25	新聞	茨城新聞	茨城新聞社	「五浦の作家」ら支援 原三溪コレクション展 横浜 茶人やパトロン 横顔と業績紹介
2019/7/25	新聞	日本水道新聞	日本水道新聞社	横浜と水 二つの近代育んだ地 共創力で新たなステージへ
2019/7/25	新聞	タウンニュース 泉区版	タウンニュース社	横浜美術館 4視点で観る原三溪
2019/7/25	新聞	タウンニュース 保土ヶ谷版	タウンニュース社	横浜美術館 4視点で観る原三溪
2019/7/25	新聞	タウンニュース 瀬谷区版	タウンニュース社	横浜美術館 4視点で観る原三溪
2019/7/25	新聞	タウンニュース 鶴見区版	タウンニュース社	横浜美術館 4視点で観る原三溪
2019/7/25	新聞	タウンニュース 青葉区版	タウンニュース社	横浜美術館 4視点で観る原三溪
2019/7/26	WEB	GardenStory	株式会社3 and garden	変化顔顔を知りたい! 明治の図版に見る花の魅力と育て方の極意
2019/7/28	新聞	リビング田園都市	サンケイリビング新聞社	三溪園で楽しむ夏休み 横浜市指定有形文化財「鶴翔閣」公開
2019/7/29	WEB	カナロコ	株式会社神奈川新聞社	四つの切り口から迫る本質 横浜美術館「原三溪の美術」展
2019/7/29	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	四つの切り口から本質に迫る 横浜美術館 原三溪の美術 伝説の大コレクション

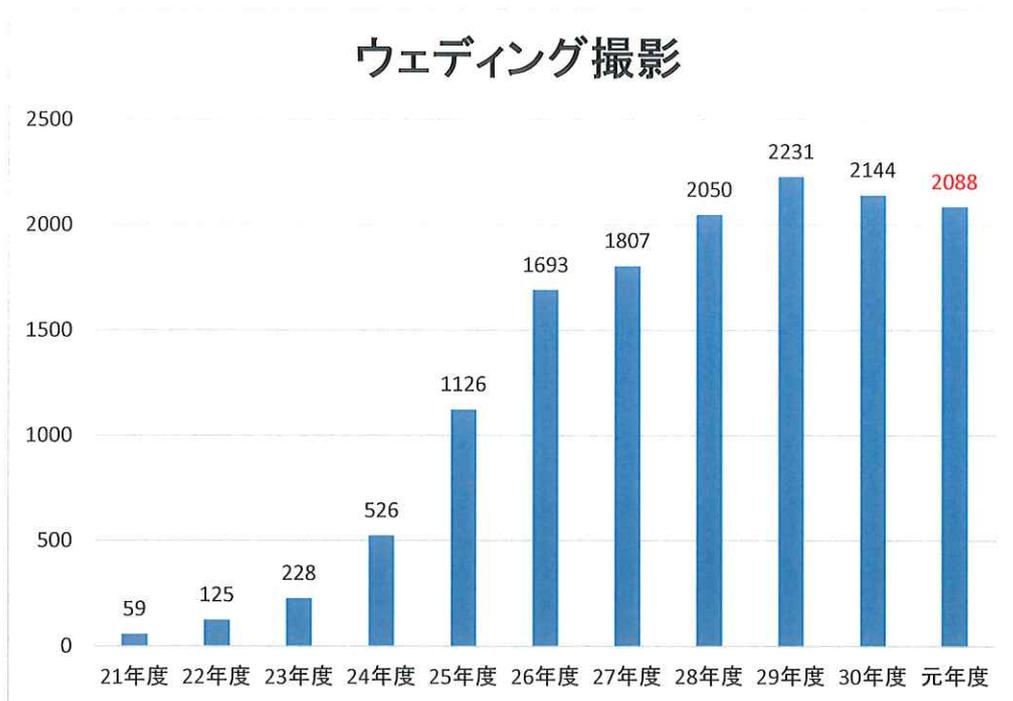
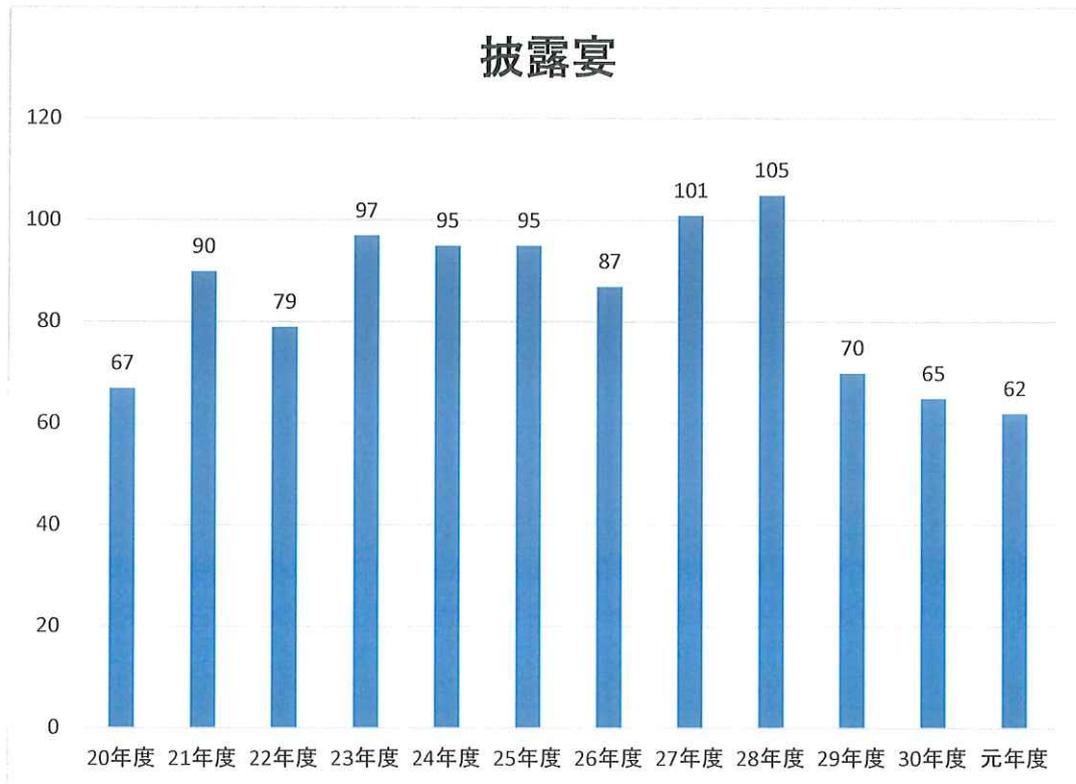
2019/7/30	新聞	東京新聞 横浜神奈川	中日新聞社東京本社	三渓園で楽しむ夏休み
2019/7/30	新聞	埼玉新聞	埼玉新聞社	主な企画展 原三溪の美術—伝説の大コレクション 三渓園を作った実業家・原三溪の、名品コレクション展
2019/7/30	新聞	大分合同新聞 夕刊	大分合同新聞社	美術品近代コレクター 原三溪と松方幸次郎 足跡をたどる展覧会
2019/7/31	新聞	朝日新聞 神奈川	朝日新聞東京本社	三渓園で楽しむ夏休み
2019/7/31	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	横浜経済7団体だより 8月の予定と新会員 横浜青年会議所
2019/8/1	テレビ	首都圏ネットワーク	NHK総合・東京	横浜・三渓園のハスが見ごろ。今月中旬まで楽しめる。
2019/8/1	テレビ	首都圏ニュース845	NHK総合・東京	横浜市中区・三渓園・ハス見ごろ
2019/8/1	雑誌	茶のある暮らし なごみ	株式会社 淡交社	三渓園と日本画の作家たち
2019/8/2	新聞	東京新聞 夕刊	中日新聞社東京本社	美術評 「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展 モノを越えた文化観
2019/8/3	新聞	日本経済新聞(東京)	日本経済新聞社東京本社	文化 原三溪 情熱と審美眼 日本美術守り育てたコレクター 私利を超え才能支援
2019/8/8	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	原三溪 没後80周年記念 「三渓園と日本画の作家たち」展 三渓園×横浜美術大 現代つないだ古典技法
2019/8/8	新聞	宮崎日日新聞	宮崎日日新聞社	近代収集家の足跡をたどる 東京、横浜で展覧会
2019/8/12	WEB	サライ.jp	株式会社小学館	明治時代から昭和初期の大コレクター・原三溪が夢見た幻の美術館を具現化【原三溪の美術 伝説の大コレクション】展
2019/8/14	WEB	毎日新聞	株式会社毎日新聞社	8月 明治・大正期に活躍した実業家、原三溪 名品公開した芸術のパトロン＝高階秀爾
2019/8/14	新聞	毎日新聞(東京) 夕刊	毎日新聞東京本社	目は語る 8月 明治・大正期に活躍した実業家、原三溪 名品公開した芸術のパトロン
2019/8/18	テレビ	新日曜美術館	NHK Eテレ	「原三溪 美の理想郷を追い求めた男」
2019/8/19	新聞	東京新聞 横浜神奈川	中日新聞社東京本社	原三溪の夢継ぐ200点 横浜美術館で展覧会 来月1日まで
2019/8/19	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	寄稿 横浜美術館開館30周年 「原三溪の美術 伝説の大コレクション」展 他者と共に価値を共有
2019/8/20	雑誌	月刊美術	サン・アート	Art Topics 日本画家の総智波留香さん 下村親山の《四季草花図》を復元
2019/8/20	雑誌	月刊美術	サン・アート	近代日本のアートシーンの発展に貢献した大コレクター 松方幸次郎と原三溪 両コレクション展が開催中!
2019/8/20	雑誌	月刊美術	サン・アート	三渓園と日本画の作家たち 三渓園(横浜)
2019/8/20	新聞	中国新聞SELECT	中国新聞社	「原三溪の美術」展 横浜 東京「松方コレクション展」近代収集家の足跡をたどる
2019/8/25	テレビ	新日曜美術館	NHK Eテレ	「原三溪 美の理想郷を追い求めた男」
2019/8/25	新聞	産経新聞(東京)	産経新聞東京本社	文化人・原三溪の全貌
2019/8/26	新聞	日本経済新聞(東京) 夕刊	日本経済新聞社東京本社	原三溪の美術 伝説の大コレクション展 横浜で9月1日まで
2019/8/29	WEB	BtoBプラットフォーム 業界チャンネル	株式会社インフォーマット	第7回アフリカ開発会議(TICAD7)配偶者プログラム
2019/8/29	WEB	JPubb	レッドクルーズ株式会社	第7回アフリカ開発会議(TICAD7)配偶者プログラム
2019/9/3	新聞	東京新聞	中日新聞社東京本社	根岸 三渓園観月会—横浜で見る、日本の月
2019/9/12	WEB	トラベル Watch	株式会社インプレス	首都圏の鉄道/バス事業者や航空会社、ヤマハの「SoundJD」を活用した多言語サービスを2020年7月導入完了へ
2019/9/12	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	最優秀に芹野さん 三渓園フォトコンテスト
2019/9/12	テレビ	よじごじDays	テレビ東京	横浜の三渓園から、片瀬茜ア子と渡辺正行さんが明日は何の日か問題を出した。明日は中秋の名月で、観月会という催しを今日から行っているという。音楽や舞を楽しみながら、お月見を楽しむことができる三渓園ではこのあと、片瀬さんがあるものを紹介する。
2019/9/20	雑誌	Yokohama Walker	KADOKAWA	Premium Walker 横浜 三渓園 重要文化財や伝統的な匠の技を間近で見て、大感激!
2019/9/21	WEB	東洋経済オンライン	株式会社東洋経済新報社	「ヨコハマ 和の匠展」を開催! 10/29-11/1 @三渓園
2019/9/21	新聞	THE JAPAN TIMES(Tokyo)	ジャパンタイムズ	YOKOHAMA/TOKYO ENJOYING RUGBY, MORE IN THE CITY OF FIRSTS Sankei Garden
2019/9/22	WEB	ヨコハマ経済新聞	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン	横浜カーフリーデー2019&モビリティウィーク 三渓園・横浜市電保存館と連携企画も
2019/9/22	新聞	秋田魁新報	秋田魁新報社	矢代幸雄著「芸術のパトロン」
2019/9/28	WEB	タウンニュース	株式会社タウンニュース社	重要文化財で夜間イベント
2019/10/1	新聞	福井新聞	福井新聞社	BOOK 矢代幸雄著「芸術のパトロン」
2019/10/4	テレビ	中居正広のキンスマスペシャル	TBSテレビ	出川家は単なる商売で当たってお金持ち、というだけではなく、家系図をたどるとんでもなくすごい先祖がいた。運縁に当たるという原三溪は、夏目漱石や横山大観などと交流を持ち、横浜に三渓園を造園した人物。
2019/10/5	新聞	佐賀新聞	佐賀新聞社	BOOK 「芸術のパトロン」 矢代幸雄著
2019/10/10	新聞	金融財政 Business	時事通信社	藤原作弥 カラム・コラム 原三溪の美術
2019/10/16	WEB	旅行新聞	株式会社AinaPal	横浜・三渓園の紅葉2019年!見頃や楽しみ方、混雑回避術
2019/10/21	雑誌	趣味の園芸	NHK出版	しゅみえんインフォメーション 出かけてみたい晩秋のイベント 「三渓園菊花展」
2019/10/22	WEB	みんなの趣味の園芸	株式会社NHK出版	横浜・三渓園で秋を彩る「菊花展」開催!10月26日~11月24日
2019/10/25	新聞	リビング横浜	サンケイリビング新聞社	会費無料! 第1回イベントは「紅葉の三渓園と隣花苑の昼館(ひるけ)」
2019/10/29	WEB	トラベル Watch	株式会社インプレス	首都高、横浜マラソン2019にあわせて11月10日に高速湾岸線で通行止め
2019/10/31	WEB	タウンニュース	株式会社タウンニュース社	宮崎さんに神奈川文化賞
2019/11/1	WEB	25ansニュース	株式会社ハースト婦人画報社	大自然が作り出す色彩にうっとり♡ 関東近郊の紅葉スポット30
2019/11/1	WEB	ハーバーズ パザー	株式会社ハースト婦人画報社	大自然が作り出す色彩にうっとり♡ 関東近郊の紅葉スポット30

2019/11/2	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	イマカナ[訪ねる] 色づく秋 紅葉散歩 三渓園 風情漂う広い園内 特別公開も
2019/11/3	WEB	エル・オンライン	株式会社ハースト婦人画報社	秋の休日に訪れたい♡ 関東近郊の紅葉スポット30
2019/11/5	新聞	定年時代 横浜・川崎版	新聞編集センター	インフォメーション 三渓園菊花展
2019/11/8	WEB	じゃらんニュース	株式会社リクルートホールディングス	【関東甲信越】11月が見頃の“紅葉スポット”57選！ 名所で絶景を堪能<2019>
2019/11/8	WEB	めるも	GMOアドマーケティング株式会社	【関東甲信越】11月が見頃の“紅葉スポット”57選！ 名所で絶景を堪能<2019>
2019/11/8	WEB	読売新聞オンライン	株式会社読売新聞東京本社	折れた梅 命宿そう 台風被害・三渓園
2019/11/8	新聞	読売新聞 横浜	読売新聞東京本社	折れた梅 命宿そう 台風被害・三渓園 横浜のフラワーデザイナー 菊花展でアレンジ
2019/11/13	新聞	東京新聞 横浜神奈川	中日新聞社東京本社	紅葉に染まる重文古建築 横浜・三渓園で23日から公開
2019/11/15	新聞	産経新聞(東京)	産業経済新聞東京本社	第29回三渓園フォトコンテスト入賞作品展
2019/11/17	新聞	東京新聞 川崎	中日新聞社東京本社	重文古建築「聴秋閣」 紅葉との競演を公開 23日から三渓園
2019/11/20	雑誌	JR時刻表12月号	株式会社交通新聞社	三渓園で過ごすお正月
2019/11/28	テレビ	ごごナマ オトナの遊び場	NHK総合・東京	(中継)神奈川県横浜市中区・三渓園。紅葉と古い建築がある。明治から大正にかけて活躍した原三溪という実業家が、京都などから古い建築などを集めて造った庭園。広さは東京ドーム4つ分ほど。三渓園・吉川利一が、「聴秋閣」「石棺」「春草廬」を紹介。江戸時代、台風に言及。なごら健吾、湯山玲子のスタジオコメント。
2019/12/1	新聞	毎日新聞 神奈川	毎日新聞東京本社	モミジ 古建築と共演 三渓園
2019/12/1	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	紅葉の古建築公開
2019/12/5	WEB	日本経済新聞	株式会社日本経済新聞社	横浜市の「三渓園」、地元企業とのコラボ商品販売
2019/12/6	新聞	日本経済新聞 神奈川・首都圏経	日本経済新聞社東京本社	地元企業とのコラボ商品販売 横浜の「三渓園」
2019/12/6	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	市や企業 三渓園PRへ 魅力満載 土産品を開発 食、衣料、雑貨など11商品
2019/12/9	WEB	NEWS Collect	ノアドット株式会社	三渓園に新しいお土産誕生！ 横浜の和を発信するお菓子や野点グッズなど全品紹介レポート
2019/12/12	WEB	タウンニュース	株式会社タウンニュース社	新しい土産が誕生
2020/1/4	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	「鶴翔閣」で伝統堪能 横浜・三渓園、特別公開 古来記述でチョウ舞う
2020/1/4	新聞	神奈川新聞 相模原・県央 湘南・西	神奈川新聞社	原三溪の邸宅公開 記述「和妻」の披露も
2020/1/16	WEB	antenna	株式会社ライダーアソシエイツ	国指定名勝の三渓園 白雲邸で楽しむ『高円宮妃殿下写真展—鳥たちの煌きIV—』
2020/1/16	WEB	婦人画報	株式会社ハースト婦人画報社	国指定名勝の三渓園 白雲邸で楽しむ『高円宮妃殿下写真展—鳥たちの煌きIV—』
2020/1/17	新聞	読売新聞 横浜	読売新聞東京本社	久子さま撮影 野鳥の写真展 三渓園
2020/1/17	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	県内首長の動向 18日 横浜 林市長【午後】高円宮妃殿下写真展—鳥たちの煌きIV—オープニングセレモニー
2020/1/17	雑誌	眺めのいい店 横浜・湘南	びあ株式会社	三渓園茶寮
2020/1/22	WEB	モデルプレス	株式会社ネットネイティブ	合格祈願の鉛筆を無料配布へ 学問の神様祭る三渓園天満宮
2020/1/22	WEB	神奈川新聞社 - This kiji is	株式会社神奈川新聞社	合格祈願の鉛筆を無料配布へ 学問の神様祭る三渓園天満宮
2020/1/22	WEB	Yahoo! ニュース	ヤフー株式会社	葉がないのも魅力 三渓園の盆栽展
2020/1/22	テレビ	tvkニュース	tvk	盆栽展
2020/2/1	雑誌	HOTほっとTokyu vol.488	東急電鉄株式会社	観梅会
2020/2/6	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	紅白の梅500本堪能を 三渓園 8日から「観梅会」
2020/2/9	テレビ	皇室ご一家	Fジテレビ	高円宮妃殿下写真展—鳥たちの煌き4—のオープニングセレモニーに出席された。久子さまは野鳥写真家としても活動されていて、英国の野鳥保護団体の名誉総裁も務められている。自然環境保護、地球温暖化、石油、石炭、CO2、コアラに言及あり。久子さまのお言葉
2020/2/9	新聞	朝日新聞 横浜	朝日新聞東京本社	三渓園観梅会 早咲きは見頃
2020/2/17	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	きょうの紙面 三溪が愛した図案 和菓子で登場
2020/2/17	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	元町・香炉庵から新土産 三溪愛した図案 菓자에 横浜らしい「和」国内外に発信
2020/2/17	新聞	日経MJ(東京)	日本経済新聞社	おもてなし 魅せどころ 三渓園(横浜市) 歴史的文化的財と自然体感
2020/2/17	WEB	日本経済新聞	株式会社日本経済新聞社	歴史的文化的財と自然体感 三渓園(横浜市) おもてなし 魅せどころ
2020/2/18	WEB	NEWS Collect	ノアドット株式会社	「横浜ひなめぐり」横浜人形の家・三渓園・旧柳下邸の3館めぐるスタンプラリー
2020/2/19	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	[おでかけ] 3月 花 ユキヤナギ 三渓園
2020/2/20	雑誌	女性セブン	小学館	夕暮れのロマンチスト 自然との共生から生まれる愛
2020/2/20	新聞	毎日新聞 神奈川	毎日新聞東京本社	かながわ経済 お得に横浜観光 赤レンガ倉庫で買い物 食事+市バス+地下鉄! 日乗り放題 あずから、チケット販売
2020/2/20	WEB	All About NEWS	株式会社オールパウト	遠近、観梅～をちこち、ふくいく～ 寒中に待ちどおしい春をいち早く感じる三渓園「観梅会」
2020/2/20	雑誌	街の便利帳2月号	クワイート	観梅会
2020/2/24	WEB	読売新聞オンライン	株式会社読売新聞東京本社	遠近、観梅～をちこち、ふくいく～ 寒中に待ちどおしい春をいち早く感じる三渓園「観梅会」
2020/3/1	雑誌	関東・東北じゃらん	リクルートホールディングス	一生に一度は見たい♡ 県別 No.1 桜絶景 神奈川県No.1 横浜市 三渓園
2020/3/1	雑誌	翼の王国	ANA	ニッポン新風景 三溪さんの心意気 三渓園【神奈川県横浜市】
2020/3/1	WEB	ヨコハマ経済新聞	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン	横浜市：新型コロナウイルス関連情報(イベント中止・延期、施設・学校休業、その他)まとめ【3月2日20時25分更新】
2020/3/1	WEB	Yahoo! ニュース	ヤフー株式会社	三渓園 梅が見頃

2020/3/1	雑誌	首都圏発日帰り大人の小さな旅 桜	昭文社	観桜のタベ
2020/3/12	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	桜sakura 横浜 三溪園
2020/3/17	新聞	建設通信新聞	日刊建設通信新聞社	8日まで参加受付 横浜市の三溪園経営アドバイザー業務
2020/3/17	WEB	建設通信新聞	株式会社日刊建設通信新聞社	4月8日まで参加受付/横浜市の三溪園経営アドバイザー業務
2020/3/18	WEB	ヨコハマ経済新聞	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン	三溪園の「観桜のタベ」が中止に 花見の宴会形式の飲食も不可に
2020/3/28	新聞	朝日新聞 湘南	朝日新聞東京本社	箱根の美術館多くが休館に 三溪園(横浜市中区)は、通常通り開園
2020/3/29	テレビ	路線バスで寄り道の旅	テレビ朝日	路線バスを乗り継ぎ、横浜を巡る。根岸～本牧～元町。横浜の競馬場跡からスタート。三溪園へ。出演者・徳光和夫、田中律子、八木亜希子

ウェディング関連使用の状況

資料

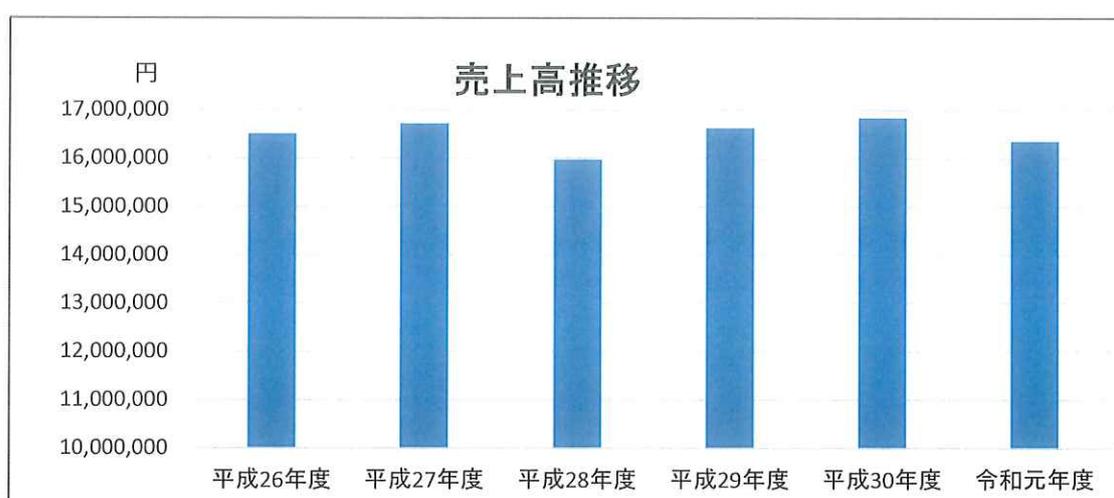


記念品販売の状況

売上高推移

(単位：円)

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
売上高	16,513,756	16,719,950	15,974,047	16,627,896	16,840,762	16,361,647
客単価	39.09	37.77	33.68	34.47	42.15	40.15



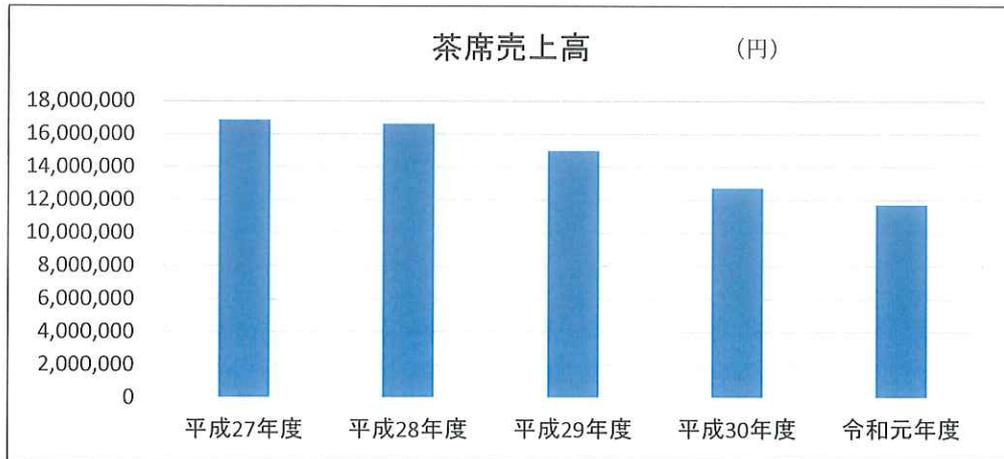
茶席の利用状況

資料11

【近年の茶席売上高】

(単位:円)

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
売上高	15,000,000	16,860,000	16,645,500	14,979,500	12,745,000	11,724,000



【利用状況詳細】

年度	一般	市バス	招待券	公用無料	後日納金	(体験)	(外国人)	利用人数	売上高(円)
令和元年度	23,317		10	225	131	1,583	3,952	23,664	11,724,000
平成30年度	25,442		8	146	48	1,842	4,752	25,645	12,745,000
平成29年度	29,753		38	153	206	1,724	4,104	30,150	14,979,500
平成28年度	32,988		63	172	303	1,957	4,814	33,526	16,645,500
平成27年度	33,568		126	119	152	2,154	3,427	33,965	16,860,000
平成26年度	29,957		97	80	43	1,685	2,703	30,177	15,000,000
平成25年度	27,595	廃止	178	145	4	1,363	2,772	27,922	13,799,500
平成24年度	28,117	3,182	429	82	20	1,272	2,590	31,830	15,013,100
平成23年度	28,924	2,321	136	231	11	1,151	1,635	30,787	12,537,700
平成22年度	35,454	4,540		163		1,211	2,586	40,157	15,543,600